

人間国宝  
の至芸を

見  
る  
!

楽  
し  
む  
!

体  
感  
す  
る  
!

平成二十八年  
七月十日(日)

開演十四時

開場十三時三十分

会場 山本能楽堂

大阪府芸術文化振興事業



大阪府文化振興基金  
Osaka Prefectural Fund  
for The Enhancement  
of Cultural Activities

平成28年度  
大阪府芸術文化振興事業

後援：大阪府教育委員会

# 梅若 玄祥 うめわか げんしょう

【プロフィール】

伍拾六世 二代 観世流シテ方 日本藝術院会員 梅若六郎家56世現当主

1948年東京生まれ。1951年能『鞍馬天狗』子方にて初舞台、17歳で『道成寺』を披く。1979年梅若六郎家当主継承。1988年伍拾六世梅若六郎を襲名。古典は基より能の復曲、新作能の上演に出演・演出するなど現代に生きる古典芸能としての能を支えている。海外への能の紹介にも意欲的に取り組み、ベルギー、アメリカ、オランダ、フランス、ギリシャ、ロシア、台湾等に招聘されるなど、能の普及を努めている。2008年、徳川初期に活躍した梅若家中興の祖である九郎衛門玄祥の名を後世に残すため、345年ぶりに名跡復活、梅若六郎改め伍拾六世 二代 梅若六郎玄祥を襲名。

1994年第1回讀賣演劇大賞 演出家部門選考委員特別賞受賞、1999年日本藝術院賞受賞、2006年紫綬褒章受章、2007年日本藝術院会員拜命、2014年重要無形文化財指定保持者(人間国宝)認定。



前シテ(女)	梅若 玄祥	地謡	山本 章弘
後シテ(鬼女)	福王 茂十郎	山本 博通	
ワキ(阿部清明)	福王 和幸	今村 一夫	
ワキツレ(男)	福王 逸平	井戸 良祐	
アイ(社人)	赤井 啓三	今村 哲朗	
笛	林 吉兵衛	山本 麗晃	
小鼓	山本 哲也	松浦 信一郎	
大鼓	中田 弘美	赤瀬雅則	
太鼓			

平成二十八年  
七月十日(日)  
開演十四時 開場十三時三十分  
能「鉄輪」

○公演前に解説、終演後にアフタートークがございます。

## 【鉄輪】

夫に捨てられた女が恨みを晴らすために貴船神社へ社の刻詣に参っていると、社人から神のお告げを伝えられる。それは赤い着物を着て顔に朱を塗り、鉄輪(五徳)を頭に載せて、その三つの脚にロウソクを付けて火を灯せば、生きながら鬼と変じて恨みを果たせるだろうというものだった。

一方、夫は夢見が悪いので陰陽師の安倍晴明を訪れて祈祷を頼む。晴明が夫と新妻の人形を作って祈祷すると、先妻の生霊が現れる。生霊は人形に向かって恨みを述べ、新妻の髪を手に絡め打ち叩き、さらに夫の命を取ろうと責め寄るが、晴明が呼び出した守護の式神に追われ、呪いの言葉を残して立ち去る。

能で使用する作り物(小道具)を、能楽師と一緒に製作します。

平成28年7月9日(土)  
10:00~11:30

講師：林本 大

●お申し込みは  
山本能楽堂 公式サイトまで  
<http://noh-theater.com>

## 作り物 ワークショップ

次回公演は

平成29年  
2月11日(土)を予定しております。  
能「安達原」シテ 梅若 玄祥

日本の舞台芸術において最高峰とされる「人間国宝」の至芸の魅力を手本能楽堂でお楽しみください。七月は「鉄輪」、二月は「安達原」。ともに能の中でも傑作とされ人気の高い演目です。初心者の方から見巧者の方まで、至芸の素晴らしさをご体感くださいませ。

公演に先立ちワークショップを開催させていただきます。参加をご希望の方は山本能楽堂公式サイトからお申込みくださいませ。

人間国宝  
見る！  
の至芸を  
楽しむ！  
体感する！



【入場料】

5000円(全席自由)

※高校生以下(未就学児の入場不可)は、ご招待。  
(先着順・山本能楽堂HPのみ取り扱い)

【チケット取扱い】

○山本能楽堂

公式サイト

<http://noh-theater.com>

TEL

06-6943-9454

○e+ イープラス

<http://eplus.jp>

直接購入  
ファミリーマート

【会場・主催・お問い合わせ】

公益財団法人 山本能楽堂

(大阪市中央区徳井町1-3-6)

TEL 06-6943-9454 FAX 06-6942-5744



【アクセス】

地下鉄谷町・中央線「谷町四丁目」駅下車  
4番出口より徒歩約2分。谷町筋に沿って北へ。  
1筋目(ホテルサンホワイト)手前を左折。  
一筋超えてすぐ左手。